

2008 年度

科目名	対象学科・学年	担当者
教科教育法特講Ⅳ	専攻科 教福（専）1 回生	たけもと ふ ゆ の しん 竹本封由之進
授業テーマ 図画工作科指導の探求		
授業の概要と目標 子どもにとって「本当に楽しい」と思える図画工作科の指導法をともに探求します。 「本当に楽しい」は「遊び」の精神であり、「自主→集中→継続→成就→発展」の道筋の中で、工夫や学びが生まれる姿です。子どもが「本当に楽しい」と思える授業をするためには、指導者はどうすればいいのか、実際に集まったメンバーで追究していきます。指導案作成、準備、場の設定、導入、指導・支援、鑑賞、評価という実際の授業における指導者の活動を通して、各自の指導者としての資質・能力を高め、プロ教師としての見識を深めてもらいたいと期待します。		
評価方法 ・主に、演習の様子 ・提出レポート ・自己評価などによって総合的に評価する。		
テキスト	著者	出版社
必要に応じてテキスト・資料を紹介する。		
参考書	著者	出版社
適宜紹介する。		
授業スケジュール・内容		
回	表 題	実 技・実 習 の 内 容
1	ディスカッション	教育実習を振り返って
2	図画工作科の指導(講義)	指導案作成
3	低学年「A 表現」①	「絵や立体に表す」
4	低学年「A 表現」②	「つくりたいものをつくる」
5	低学年「A 表現」②	「材料を基にした活動」
6	中学年「A 表現」①	「絵や立体に表す」
7	中学年「A 表現」②	「つくりたいものをつくる」
8	中学年「A 表現」②	「材料を基にした活動」
9	高学年「A 表現」①	「絵や立体に表す」
10	高学年「A 表現」②	「つくりたいものをつくる」
11	高学年「A 表現」②	「材料を基にした活動」
12	低学年「B 鑑賞」	「鑑賞」(各自の表現から)
13	中学年「B 鑑賞」	「鑑賞」(身近な表現から)
14	高学年「B 鑑賞」	「鑑賞」(芸術作品から)
15	まとめ(講義)	評価票完成
		評価票提出
＊ 履修にあたって 授業の特性より、 人数制限（(40 名以内) を行います。 <u>詳しくは教務課の掲示を見てください。</u> 本科目を履修した場合、 <u>毎回のレポートと一人1回以上の授業演習</u> が課題となります。 また、それに伴う必要経費（材料費）の徴収もあることを了承してください。		